



# 但馬国府・国分寺館ニュース

編集・発行

2009.2 第15号

但馬国府・国分寺館  
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669 5305 兵庫県豊岡市日高町柿布 808  
TEL 0796-42-6111 FAX 0796-42-6112  
http://www.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/



## 重要文化財 鹿形埴輪

「見返りの鹿」ともよばれ、後ろを振り返った鹿の一瞬の様子を写実的にとらえたものです。角は取り外しが可能で、口元は草を食んでいたかのように表現されています。他に類を見ないきわめて精巧な作りの埴輪で、貴重な資料です。

(島根県松江市・平所遺跡埴輪窯跡出土/  
島根県立八雲立つ風土記の丘蔵・写真提供)



## 第2回特別展

# はにわ - 但馬と山陰の古墳文化 -

古墳時代を代表する資料に「埴輪」があります。「埴輪」と聞くと、多くの方は「踊るはにわ」を思い浮かべるかも知れません。しかし、埴輪と言っても多くの種類があって、違った性格をもっているのです。

土管状の円筒埴輪は、出土量の多さから、年代や地域性を知る資料として欠かせない存在になっています。一方、人物埴輪や動物埴輪は、愛くるしい姿から古来より多くの人々を惹きつけてきたほか、古墳時代の習俗や“まつり”の様子を現代に伝えてくれます。

今回の展覧会では、但馬を中心とした山陰地域の埴輪を通して、中央と地方、そして地方間どうしの関わりを探ってみました。これを機に、個々の埴輪のもつ古代の造形美を味わうとともに、古墳時代の歴史の奥深さを感じていただければ幸いです。

### ■ 展覧会名・会期

第2回特別展「はにわー但馬と山陰の古墳文化ー」  
平成21年2月13日(金)～3月24日(火)

### ■ 展示協力機関・個人 (50音順・敬称略)

朝来市教育委員会／朝来市埋蔵文化財センター／  
いずし古代学習館／京丹後市教育委員会／  
京丹後市立丹後古代の里資料館／  
島根県立八雲立つ風土記の丘／東京国立博物館／  
鳥取県立博物館／鳥取市教育委員会／  
鳥取市埋蔵文化財センター／  
豊岡市出土文化財管理センター／  
兵庫県立考古博物館／養父市教育委員会／  
与謝野町教育委員会／

伊藤雅典 加川崇 加藤晴彦 藤田 淳 高橋克壽  
高屋茂男 谷本 進 田畑 基 中島雄二 橋本勝行  
東方仁史 山根実生子

## 「埴輪」とは何か

「埴輪」は、古墳時代（3世紀～6世紀）にのみ作られた素焼きの焼き物のこと。古墳の上に立て並べて使いました。

埴輪はもともと、弥生時代のお墓で、死者を弔うまつりで使われていた壺などがもともになっています。しかし、時代が経つとともに、古墳の聖域を守ったり、権力を誇示したりするためのものへと変わっていきました。また、埴輪は時代だけではなく、地域によっても違いがみられます。埴輪に残されたわずかな痕跡からも、古墳時代の社会・文化を読みとることができるのです。



古墳に並べられた埴輪  
(復元/作山2号墳/京都府与謝野町)

## 因幡と丹後の埴輪—日本海を通したつながり—

因幡（鳥取東部）と丹後（京都北部）には、上部がドーム形に丸くなる円筒埴輪が見つっています。それらは、因幡では「因幡型円筒埴輪」、丹後では「丹後型円筒埴輪」とよばれています。これらの埴輪は、円筒埴輪の上に壺を載せた形を表しています。

「因幡型」や「丹後型」円筒埴輪は、他の地域では見られない独特の形態をしているため、因幡と丹後との間には、社会的・文化的に深い関係があったことがわかります。ただし、因幡と丹後に挟まれた但馬では、これらの埴輪は見つかっておらず、因幡や丹後とは社会的なつながりが異なっていた可能性があります。



網野 銚子山古墳と小 銚子古墳  
(京丹後市教育委員会写真提供)

因幡



因幡最古の円筒埴輪  
(倭文5号墳出土/鳥取市教育委員会蔵・写真提供)



因幡型円筒埴輪  
(六部山45号墳出土/鳥取市教育委員会蔵・写真提供)

丹後



丹後型円筒埴輪  
(小銚子古墳出土/京丹後市教育委員会蔵・写真提供)

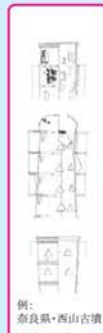


丹後型円筒埴輪（上部片）  
(網野銚子山古墳出土/京丹後市教育委員会蔵・写真提供)

### Topics 「因幡型」と「丹後型」

「因幡型円筒埴輪」も「丹後型円筒埴輪」も、円筒埴輪と壺が組み合ってきたものです。両者を比べると、「因幡型」のほうが壺の名残を良く残している点など、古い要素が多くみられます。このことから、因幡から丹後へと、埴輪作りの技術が伝わったと考えられています。

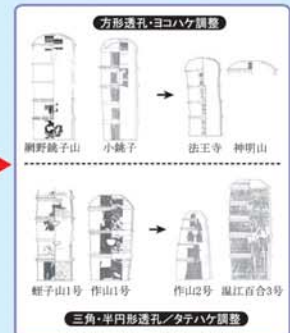
### 大和北部



### 因幡型円筒埴輪



### 丹後型円筒埴輪



## 但馬の円筒埴輪

因幡と丹後に挟まれたここ但馬には、畿内の影響を受けた埴輪が多く分布していて、但馬独特の埴輪は、今のところ見つかっていません。

「因幡型」や「丹後型」が作られる古墳時代前期の埴輪は、但馬ではほとんど見つかっていません。但馬で埴輪作りが本格化するのには、因幡・丹後の独自性が薄まる古墳時代中期以降のこと。因幡と丹後のつながりから但馬が外れているのは、但馬の海岸線には崖が多く、天然の良港には恵まれていなかったという地理的な理由のほか、古墳時代中期になって円山川を使った日本海から畿内へ通じるルートが確立したからという可能性も考えられます。



## 但馬の形象埴輪

形象埴輪とは、家形埴輪や人物埴輪、動物埴輪など、さまざまなモノや生物をかたどった埴輪のこと。関東地方では「踊るはにわ」をはじめ、多くの優れた形象埴輪が出土しています。

但馬では、家形埴輪、人物埴輪、馬形埴輪、鳥形埴輪をはじめ、牛形埴輪やついたて形埴輪など、珍しい形象埴輪も出土しています。しかし、全体としては形象埴輪の出土数は少ないため、その成立や展開には不明な点が多く残されています。



丹後の蓋形埴輪 (大將軍遺跡出土／京丹后市教育委員会蔵・写真提供)



但馬の蓋形埴輪 (池田古墳出土／朝来市埋蔵文化財センター蔵)



馬形埴輪 (森向山1号墳出土／朝来市埋蔵文化財センター蔵)

### Topics 2つの蓋形埴輪

蓋とは、貴人にかざす大きな傘のこと。但馬の池田古墳と、丹後の大將軍遺跡から出土した蓋形埴輪には、鋸の歯のような三角形を重ねた模様が表現されています。これは畿内の蓋形埴輪とは異なる表現。但馬・丹後独特の個性なのでしょうか。

# 但馬国府・国分寺館 名品ギャラリー

## ⑬ えんとうはにわ 円筒埴輪

奈良谷9号墳（豊岡市日高町上郷）出土／5世紀／土製／  
基底部片：縦13.6cm、横17.9cm、厚さ1.9cm、推定直径30cm



豊岡市内には6000基を超える古墳がありますが、そのなかで埴輪をもつ古墳はわずかに7基のみ。埴輪をもつ古墳は意外と少数派なのです。

奈良谷9号墳は、直径35mの円墳です。尾根上に30基以上の古墳が連なる、奈良谷古墳群の中で最も大きな古墳です。発掘調査はしていませんが、古墳の周りから円筒埴輪や形象埴輪の破片が採集されています。端部がわずかに外へ開く口縁部片などがみられます。摩滅が激しく、製作技法などの詳細はわかりません。5世紀代の埴輪と考えています。

## お知らせ

### ■ 記念講演会「山陰の埴輪を探る」

日時：2月21日（土）午後1時30分～4時

場所：日高農村環境改善センター 多目的ホール

内容：「畿内の埴輪、山陰の埴輪」

講師…高橋 克壽氏（花園大学文学部准教授）

「但馬・丹後の埴輪」

講師…中島 雄二氏（朝来市埋蔵文化財センター）

\*聴講無料。申込みも必要ありません。

定員：100名

### ■ 講座「埴輪生産を考える」

日時：3月14日（土）午後1時30分～3時

場所：但馬国府・国分寺館 映像ホール

内容：「埴輪生産からみた古墳時代の社会」

講師…当館学芸員

\*聴講無料。申込みも必要ありません。

### ■ 体験教室「埴輪の貯金箱を作ろう！」

日時：3月21日（土）午前10時～12時

場所：但馬国府・国分寺館 総合学習室

材料費：300円（粘土代）

定員：10名（先着順）

\*お電話でお申し込みください。（TEL 0796-42-6111）

\*作品は、約1ヶ月後に野焼きしてお渡します。

### ■ 但馬国分寺跡第25次発掘調査をおこないました。

平成20年10月から、但馬国分寺跡の東端部分の発掘調査をおこないました。その結果、寺院東端を区画する溝の中から、「僧寺」「三綱」と書かれた墨書土器などが見つかりました。「三綱」とは、寺院を管理・運営し、僧尼を統括する3人の役僧のこと。三綱は、大衆院という場所で寺務を掌っていました。これまでの調査でも、付近で「大院」と書かれた墨書土器が出土していることなどから、今回の調査区が大衆院の一部にあたることがわかりました。今後の成果にご期待ください。



「三綱」墨書土器

## 但馬国府・国分寺館 ご利用案内



■開館時間 午前9時～午後5時  
（入館は午後4時30分まで）

■休館日 水曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）  
12月28日～1月4日

■入館料 大人 500（400）円、高校生 200（150）円、  
小中学生 150（100）円  
\*（ ）は20名様以上  
\*県内小中学生は無料  
\*65歳以上の方は半額

■最新情報はホームページもご覧下さい。  
<http://www.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



ホームページ QRコード